

～臨床情報・検体の研究利用に関するお知らせ～

研究課題名:『肝細胞癌に対するアテゾリズマブ＋ベバシズマブ併用療法における奏功の予測因子としてのIL-6の有用性』

研究機関名: 東邦大学医療センター大森病院

研究責任者: 消化器内科

職位・氏名: 助教・向津隆規

【研究の目的】

東邦大学医療センター大森病院消化器内科では、切除不能な肝細胞癌に対してアテゾリズマブ＋ベバシズマブ併用療法を積極的に行っています。この治療は、免疫の活性化と腫瘍の血管新生を阻害することで、癌に対する効果を発揮している治療法です。この治療法を受けた方の血清IL-6値により免疫の活性化を測定し、治療効果を予測することを目的として本研究を計画しました。この研究で得られる成果は、肝細胞癌の治療の進歩につながります。

【研究対象および方法】

この研究は、(東邦大学医療センター大森病院)倫理委員会の承認を得て実施するものです。
対象者: 2021年4月～2022年12月までに東邦大学医療センター大森病院消化器内科において、肝細胞癌に対してアテゾリズマブ＋ベバシズマブ併用療法を受けた方
方法: 診療録(カルテ)から抽出したデータを解析します。

【研究に用いられる試料・情報】

情報: 病歴、診療の治療歴、採血データ、造影CT検査、造影腹部超音波検査 等

【研究組織】

代表施設名: 東邦大学医療センター大森病院消化器内科

研究代表医師: 向津 隆規 役職: 助教

【個人情報について】

研究に利用する情報は、患者様のお名前、住所など、個人を特定できる個人情報は削除して管理します。また、今回の研究で得られた成果を、医学的な専門学会や専門雑誌等で報告することがありますが、個人を特定できるような情報を利用することはありません。

本研究に関してご質問のある方は、下記までご連絡下さい。また、情報が本研究に用いられることについて御本人もしくは御家族の方に御了承頂けない場合には、研究対象としませんので、下記の連絡先まで申し出ください。その場合でも、患者様に不利益になることはありません。

【連絡先および担当者】

東邦大学医療センター大森病院 消化器内科

職位・氏名 助教・向津隆規

電話 03-3762-4151 内線 77276